

いわて平泉米だより

平成 29 年 5 月号

こんじき 「金色の風」の豊作を願い

平泉中尊寺で種まき式

2017年から栽培される県産オリジナル水稲品種「金色の風」の種まき式が4月9日、平泉町の中尊寺で行われました。JAいわて平泉、岩手ふるさと、江刺の各栽培研究会が主催し関係者約50人が出席。県のフラッグシップ米としてトップブランドとなるよう期待を込めました。豊作祈願法要は本堂で行われ、僧侶による祈祷を受けた種もみが、当JA栽培研究会の小野正一会長に託され、本堂前で各栽培研究会代表、各JA組合長、一関、平泉、奥州、金ヶ崎の各市町長らが苗箱に種もみをまき豊作を祈願しました。

当JAでは、4日から平泉水稲育苗センターを皮切りに「金色の風」の種まき作業が管内の水稲育苗施設で行われ、合計5740箱に種まきをしました。



豊作とトップブランド化を祈願



期待を込めて種をまく関係者